

みなみさんりく 議会だより



No. 77

令和 7 年 5 月 1 日発行

特集

令和 7 年度当初予算

P2

今回の主な内容はこちら

P 8 新教育長任命

P20 全行政区長と意見交換

P11～19 一般質問

P22 議案一覧

《表紙》

～旭桜坂の桜とkizuna留学第3期生の皆さん～
全国各地から南三陸へ。南三陸高校
kizuna留学生は元気いっぱいです。
町民みなさま、よろしくお願いします。



総括的質疑



及川 幸子議員

Q 人材育成は重要だ。みなゼミの継続は。

町長 2年間の開催で大変有意義だった。継続はしない。

問 業種や世代間を幅広く学びの場を広げた。継続する事が重要なのでは。
答 20代から50代まで参加いただいた。一番重要なことは卒業後に地域にどのよう還元し行動を起こすかという事。新年度は違った形で人材育成に取り組む。

Q 町ではKPI(重要業績評価指標)を行なっているのか。

町長 令和6年からの取り組みで、いずれ公表する。

問 人口が減っているのに予算は増えている。対策が必要なのは。行政需要は上下するもの。単年度の予算の増減で一喜一憂するものではない。
※KPIとは…重要業績評価指標。目標達成に向けたプロセスや行動を評価するための指標のこと。

Q 未来につながる予算編成になっているか。

町長 生誕20周年ではあるが、予算編成は繰り返し継続していくものだ。

問 施政方針で職員の意識改革と言及しているが、職員数が不足する中、予算の適正な執行は出来るのか。
答 本年度はDX補助官を迎え、全体を再度見直し効率化を図り、行政運営に取り組む。まちづくりには、30代40代の力が大事なので。
問 皆さんが、まちづくりに対しどう考えているかを聞き取る事が一番大事なこと。実際、活動している方々もいるが、もっと増やしてもっと元気に活躍してほしい。

Q 漁業の新しいチャレンジに光を当てる必要があるのでは。

町長 まちの水産業は基幹産業だ。しっかり応援する。

問 南三陸町の漁業は大変深刻な状況だ。いのちめぐるまちに暮らす我々はどうすべきか。
答 これまでの行政と産業団体のパートナーシップの構築は町の強みだ。それを生かして、チャレンジする年になる。
問 新事業の開発研究などに、強力なバックアップが必要なのは。特に予算を設けていないが、新しい動きに進展があれば行政としての務めを果たしていく。



後藤伸太郎議員

詳しい質疑は、次ページから！
総括的質疑の動画は上記QRコードからご覧になれます。↓(3:30)

地域産業の持続的発展

地域経済と暮らしの支援

ひとづくりと協働の更なる促進

子育て支援と福祉の充実

4つの主要方針

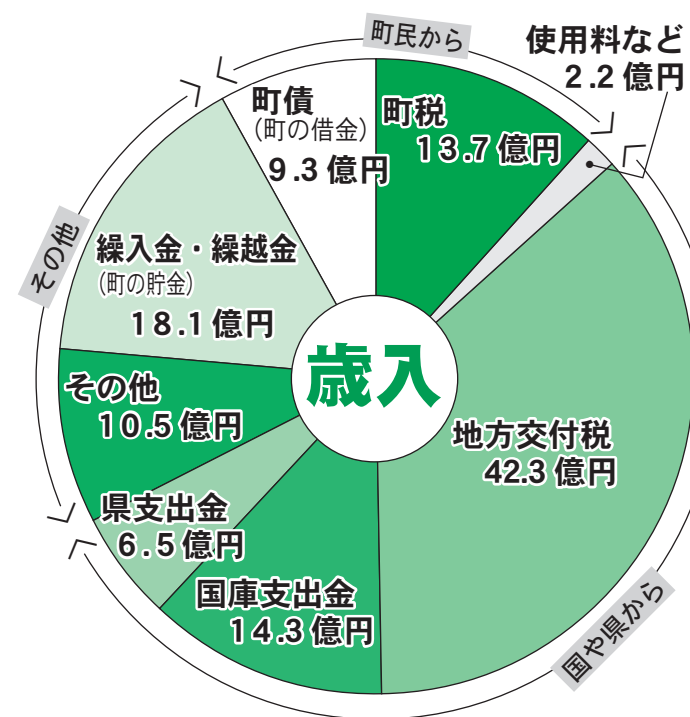
令和7年度
当初予算

基金取り崩し積極財政

財政調整基金からの繰入金は 2億円増

一般会計予算

117億円(前年比+2.7%)

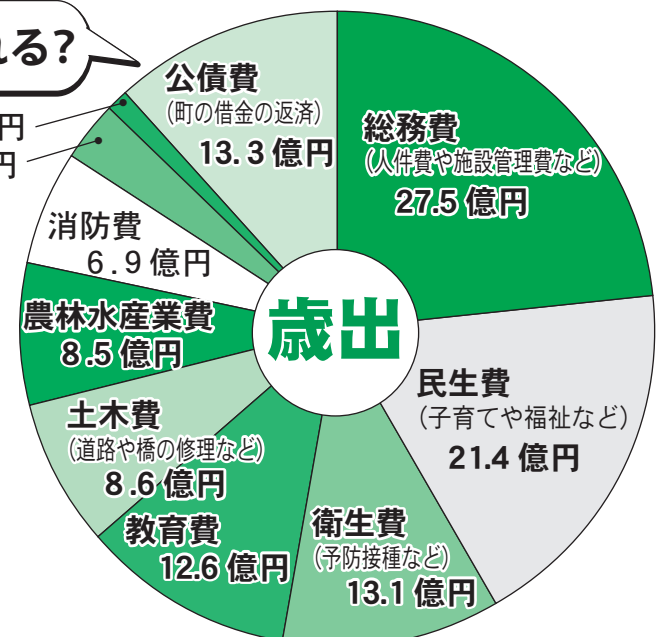


お金はどこから入ってくる?

- 歳入のポイント
- 地方交付税 物価高騰などにより、前年より1億円増
 - 国庫支出金 障害者自立支援、児童手当 0.7億円増
 - 繰入金 投資的経費増で財政調整基金から11億円、前年より2億円増

お金はどこに使われる?

- 歳出のポイント
- 総務費 ふるさと納税、デマンドバスの拡充など
 - 民生費 子どもの居場所づくり、妊婦のための支援など
 - 農林水産業費 森林環境税を活用した森林管理の加速化
 - 教育費 歌津中、ベイサイドアリーナ、平成の森の改修 小中学校給食費の無償化の継続



予算はどう使われるのか

《一般会計》

電子決済での支払いは
〈使用料及び手数料〉

歳出

歳入

固定資産税の今後は
〈町税〉

問（須藤清孝委員） 固定資産税が増加傾向にあるが、今後の見通しは。

答 令和9年度ぐらいがピークと見込む。

森林環境税の周知徹底を
〈地方譲与税〉

問（後藤伸太郎委員） 使い途の周知徹底を。

答 国民1人千円の税額になる。森林の育成に使用する。住民への周知を図りたい。

夜道を照らす防犯灯を
〈総務費〉

問（伊藤俊委員） 防犯灯の設置状況、優先順位があるか。

答 令和4年度29基、5年度17基、6年度18基の実績である。今年度は20基の計画。設置は現地を確認の上決定している。

問（須藤清孝委員） 国道398号の沖田から水戸辺間に防犯灯の設置を。
答 設置の方向で検討したい。

論戦白熱

地域おこし協力隊を取り巻く環境とは
〈総務費〉

問（須藤清孝委員） 本事業への評価を伺う。退任する事例もあり取り組みに問題があるのでは。

答 最終的に地域への定住を目標とした事業である。3月現在9事業者で11名の隊員が活動している。環境整備に尽力する。

問（今野雄紀委員） 地域おこし協力隊の定着率及びミッションのあり方は。

答 起業に至った方は2名、継続雇用は数名である。隊員定着に結び付けていく。

問（伊藤俊委員） 今年度6名採用で4名解雇になった。町、事業者、隊員の連携に課題があるのでは。

答 採用時点において事業者と隊員の協力体制を構築していく。

防災士取得に支援
〈総務費〉

問（伊藤俊委員） 防災士育成の取り組みは。今年度本町の資格取得者は2名。防災士の連携も検討する。

問（及川幸子委員） 防災士の資格取得者を増やす施策を。
答 消防団への働きかけや町単独での受験機会も考慮する。なお資格者は34名である。



防犯灯設置を求める声が

行政DXを推進せよ
〈総務費〉

問（菅原辰雄委員） DX推進業務の内容及び委託先は。

答 行政サービスのデジタル化を推進するための業務。適切な企業を選定し委託したい。

問（伊藤俊委員） CIO補佐官業務委託業務でどのような成果が期待できるか。

答 町のDX事業の将来像を描きたい。その最終形まで到達するか分からない。

がつけば補正予算を計上する。

山火事防止のため廃棄物処理の徹底を
〈衛生費〉

問（伊藤俊委員） リチウムイオン電池の違法廃棄から山林火災発生が危惧される。適切な廃棄処理の指導を。

答 環境週間での広報活動やパンフレットでの周知を徹底したい。



施設の有効活用を

ふ化場の別途利用を
〈農林水産業費〉

問（今野雄紀委員） ふ化場の用途変更の考えないか。

答 サケふ化放流事業が厳しい状況なので、用途外利用も検討せざるを得ない。

シルク館改修はいつ
〈農林水産業費〉

問（佐藤雄一委員） ひころの里のシルク館の改修時期は。

答 町単独予算での工事。令和8年度実施する。

今後の漁業の展望は
〈農林水産業費〉

問（三浦清人委員） 厳しい環境下にある漁業者に夢が持てるようなメッセージの発信を。

答 本町の基幹産業は水産業である。町として引き続き支援していく。

予算縮小のワケは
〈農林水産業費〉

問（高橋尚勝委員） 農林水産業費が前年度より減額になっている理由は。

答 主に漁港予算の減額によるものである。

複数委員が質疑

有害鳥獣対策の現状
〈農林水産業費〉

問（阿部司委員） 令和6年の捕獲頭数は。シカ220頭、イノシシ69頭。増加傾向にある。

問（菅原辰雄委員） 有害鳥獣駆除補助金が前年同額だが、銃弾等経費が上がっている。増額されたい。

答 6年度から捕獲報酬をアップしたが、今後引き続き検討する。

問（佐藤雄一委員） 埋設場所が満杯になってきている。新たな場所を選定すべき。
答 新たな場所を現在検討中である。

老人クラブの活動支援を
〈民生費〉

問（佐藤雄一委員） 会議の際の茶菓子提供など弾力的支援を。

答 環境美化活動等では飲み物を提供できる。会議では難しい。

陣痛タクシーやらないのか
〈民生費〉

問（後藤伸太郎委員） 陣痛タクシーなぜやらないのか。

答 安心して利用できる体制整備の検討に時間を要している。実現の目処

みなはびへの直接支援は
〈民生費〉

問（伊藤俊委員） みなはび運営への財政支援が必要と考えるが。

答 居場所づくりとして「みなはび」とタイアップして行なう。

論戦白熱

行政DXを推進せよ
〈総務費〉

問（菅原辰雄委員） DX推進業務の内容及び委託先は。

答 行政サービスのデジタル化を推進するための業務。適切な企業を選定し委託したい。

問（伊藤俊委員） CIO補佐官業務委託業務でどのような成果が期待できるか。

答 町のDX事業の将来像を描きたい。その最終形まで到達するか分からない。

百寿の祝金、減額しては
〈民生費〉

問（及川幸子委員） 祝金を半額や10万円ぐらいにすべきでは。

答 過去に100万円を50万円にした。今後の課題としたい。

答 安心して利用できる体制整備の検討に時間を要している。実現の目処

予算はどう使われるのか

複数委員が質疑

観光協会の状況は

〈商工費〉

問（今野雄紀委員）観光協会のスタッフの待遇を改善できないか。

答 待遇内容は承知していない。内容は伝えたい。

問（佐藤雄一委員）観光協会の運営を将来、独立採算性に移行する考えは。

答 観光協会の考え方による。

観光による経済効果は

〈商工費〉

問（伊藤俊委員）教育旅行の誘致促進の取り組みは。

答 教育旅行、合宿旅行等の誘致により地域活性化に寄与したい。

問（今野雄紀委員）観光に係る予算は妥当か。

答 100万人を超える観光客を誘致するために必要な予算額である。

論戦白熱

横断1号線の速やかな進捗を

〈土木費〉

問（三浦清人委員）入谷横断1号線の補助金額が減額になった理由は。

答 国県との協議の結果減額になった。詳しい事情は承知していない。

合鍵預かりを進める工夫は

〈土木費〉

問（伊藤俊委員）入居時に渡された鍵を紛失した場合、この制度の利用が出来ない。特殊な鍵なので簡単に複製が出来ず困っている方もいるようだ。
答 住宅供給公社と連携して対応したい。

論戦白熱

部活動の地域展開

〈教育費〉

問（須藤清孝委員）部活動の地域展開の現況は。

答 6年度準備委員会を開催した。来年度は検討委員会を立ち上げる予定である。新年度から部活動は、基本的に在校生も含め任意参加型になる。

問（今野雄紀委員）部活動参加が任意となった場合、参加しない生徒への対応は。

答 検討委員会で課題を検討することになる。全ての生徒が地域展開による部活動への参加を期待する。

問（伊藤俊委員）検討委員会の委員の構成と設置年限は。

答 地域展開は当面休日のみとなる。委員は学校関係、保護者、スポーツ・文化関係者等である。南三陸町ならではのものとした。完全実施は令和10年頃になる見込み。



一刻も早い完成を

スポーツ施設のLED化に多額の予算が

〈教育費〉

問（須藤清孝委員）LED化の対象施設、設備はどこか。

答 ベイサイドアリーナの照明60灯、平成の森野球場の照明6基72灯がLED化になる。

社会教育団体への補助のあり方

〈教育費〉

問（伊藤俊委員）活動費補助を受けられる団体とそうでない団体があるのでは。

答 登録していない団体もあり、今後周知を図って行きたい。

《特別会計》

健診受診率向上のために

〈国保〉

問（及川幸子委員）受診率向上を図る方策は。

答 受診勧奨通知をした。年度は受診率が伸びた。令和7年度は予算計上をした。

国保会計、このままでもいいのか

〈国保〉

問（後藤伸太郎委員）令和6年度に保険税率を引き上げたが、基金からの繰入れ額が増えた理由は。
答 保険税収入がやや減少傾向である。基金残高は1億9千8百万円である。

複数委員が質疑

認知症への対応は

〈介護〉

問（伊藤俊委員）認知症サポーターの応援が必要。ステップアップ研修の実施を。

答 チームオレンジの活動や認知症カフェ等を支援して行く。

問（及川幸子委員）一般職1名を配置されが、事業の内容を示しては。

答 看護師1名を配属した。普及啓発活動を担当し認知症サポーターや認知症カフェ支援にあたる。

LSA継続は嬉しいが

〈介護〉

問（伊藤俊委員）予算額の根拠と継続の見通しは。

答 委託先と協議した結果による。複数年の継続事業を目指したい。

診療報酬アップの要望を

〈病院〉

問（及川幸子委員）病院経営にあたって診療報酬アップを要望すべき。

答 国民負担との兼ね合いもある。特別交付税で手当てされている。

看護師の確保は

〈病院〉

問（伊藤俊委員）人材育成、人員の確保に注力する。
答 研修など積極的に行なっている。魅力的な職場環境の情報発信に努めたい。



新教育長任命

新教育長の任命や保険税引き上げ及びベイサイドアリーナの照明使用料無料化が審議されました。



小松 祐治 新教育長

4月1日付で教育長を拝命しました小松祐治です。南三陸町出身です。昭和63年の新規採用から37年間（行政職9年）の教員生活を母校である志津川小学校で終えることができました。重責ではありますが、これまでの経験を生かして、南三陸町の教育行政のために全力で取り組みます。どうぞよろしくお願いいたします。

その他にもこんな議案審議をしました

人事

人権擁護委員3人の任命同意

及川庄弥氏（継続）

阿部美津雄氏（新任）

及川道子氏（新任）

議員発議

議員の請負の状況に関する条例制定

議会議員の請負の状況の透明性を確保し議会運営の公正及び事務執行の適正化を図るため条例を制定する。

高額療養費等貸付基金を廃止

高額医療費限度額認定証の普及により被保険者負担が軽減され貸付を必要とする状況が解消されたため、高額療養費等貸付基金を廃止する。

正算 補予 3月定例会議

予算整理のための補正予算で多くの項目が減額となり6事業が令和7年度に繰越となる。

問（及川幸子議員）地域おこし協力隊補助金4200万円の減額理由と隊員数は。

答 応募者20名と協議したが3名の方との協議が不成立になったことと途中解雇されたことにより減額が生じた。

問（今野雄紀議員）研究型の地域おこし協力隊が必要と思うが。

答 受け入れ型の要望が多く事業期間中に技術を習得しこの地域での活性化を期待している。

地域おこし協力隊活動推進補助金

4,200万円 減額

2 保険税率引き上げ

国民健康保険税の負担の適正化を図るため県が示す市町村標準保険料に対応するため税率の改正を行なった。

改正税率の内容

各3区分とも均等割で一律1000円アップとし、また所得割の税率を下記のとおり改正する。

区 分	所得割
基礎課税額(医療分)	6.0%
後期高齢者支援金分	2.3%
介護納付金分	1.8%

3 照明使用料 0円に

ベイサイドアリーナ施設の照明不備により工事期間中は照明使用料は無料とする。

問（今野雄紀議員）工事期間中は使用は可能か。

答 工事期間の使用は不可とする。
問（三浦清人議員）照明不備の事前確認は早期に対応出来なかったか。
答 全照明をLED化するため今回一斉に行うこととした。



橋梁修繕工事

5,100万円 減額

問（佐藤正明議員）何件工事を行い5100万円の減額になったか。

答 補助金13000万円を要望したが結果として9000万円の交付決定になった。



ここが聞きたい！

一般質問

一般質問は年4回の定例会議でのみ

一問一答方式で

1人90分の制限時間で行われます。

議員からの通告によって行われるため

町政全般について自由度の高い議論が展開されます。

今回は

8人の議員が16件について

行いました。

「各議員の質問内容」

1 須藤 清孝 議員…12ページ

①防犯カメラの設置に補助金を



2 後藤伸太郎 議員…13ページ

①子ども家庭センターの体制は
②なぜ全員を受け入れられない



3 阿部 司 議員…14ページ

①高齢化社会の火災予防は
②带状疱疹への対応は
③町道整備にかかる『見える化』の
進捗状況について



4 佐藤 正明 議員…15ページ

①安全で快適な生活が送れる環境整備を



5 菅原 辰雄 議員…16ページ

①屋根付き多目的広場の建設を
②デマンド交通の成果は



6 伊藤 俊 議員…17ページ

①未来の町を担う世代が参加できる
協働のまちづくりを
②大切な自然環境を守るために



7 今野 雄紀 議員…18ページ

①職員の方たちの石碑が建立され次は一般町
民の分ではないか、風化防止のためにも
②集客・交流人口拡大の広告・宣伝
よりも、地域資源に投資を



8 及川 幸子 議員…19ページ

①上の山から志小までのルート確保しては！
②落沢線の改修工事を早くすべき
③引きこもり不登校の現状と課題について



各議員の一般質問の動画が見やすいよう、それぞれのページにQRコードを掲載しています。お手元のスマートフォン等でカメラを起動し、QRコードを読み込み、再生すると、その議員の質問の時間からご覧いただくことが可能です。

物価高騰対応におよそ1億円

補正
予算
1月臨時会議

物価高騰対応臨時交付金事業

低所得者への生活支援	非課税世帯に3万円×1230世帯	3,690万円
子どもがいる低所得者への生活支援	非課税世帯の 子ども1人に2万円×100人	200万円
施設園芸	燃油購入費も補助	141万円
飼育農家	牛・羊の飼料も補助	643万円
漁業	町内の漁協正組合員に給付金	1,889万円
運送	運送業者の燃料代支援	1,170万円
高圧電力利用事業者	電気料を支援	1,900万円
		計9,633万円

問（今野雄紀議員）支援対象の動向などは。

答 低所得者層支援の件数が増加傾向にある。

問（後藤伸太郎議員）支援メニューに取捨選択の議論はあったか。

答 担当課との協議や関係団体などへのヒアリングで選択している。

討論

特別職の給与改定

反対討論

三浦清人議員

賛成討論

後藤伸太郎議員

議員報酬改定

反対討論

及川幸子議員

三浦清人議員

賛成討論

後藤伸太郎議員

今野雄紀議員

給与改定の議案で
賛否分かれる

案議
議審

1月臨時会議

防犯カメラの設置に補助金を

町長 特殊詐欺電話撃退装置も含め検討する



防犯対策

船外機の盗難は
他人事ではない。
漁港に防犯カメ
ラを！

QRコードから一般質問
の動画が見られます。



- 問 交通安全対策の現状と課題は。
- 答 交通安全運動の参加者が高齢化で減っている。観光シーズンの事故も含め関係団体と連携し啓発に努める。
- 問 死亡事故ゼロ10年間につながった要因は。
- 答 町民皆様のご協力のもとより、10年前は嵩上げ工事が始まっていた。全国から来た工事関係者の方々からのおかげもあり成し遂げられたと思っている。
- 問 小中学校の交通安全対策の現状は。
- 答 (教育長) 通学路安全点検・指導を行ない、地域と連携し登下校時の見守りも行なっている。
- 問 子どもの頃に授かる交通安全の意識は、生涯にわたる交通安全教育だと思う。教育長の所感は。
- 答 (教育長) 命を守ることは最優先で、生涯にわたり身につく安全教育をしていきたい。
- 問 年末に特殊詐欺の啓発を促すアナウンスが連日防災無線で流れていた。当町での被害は。
- 答 特殊詐欺被害が1件、SNS型詐欺が3件発生しており、啓発活動を行った。
- 問 特殊詐欺電話撃退装置の効果がかなり有効だ。町の考えは。
- 答 14市町が補助金制度を行っており、防犯カメラを含め何らかの支援の必要性を認識している。
- 問 これからの対応は。
- 答 今後の流れを考えた場合、防犯カメラの需要は増加する。補助金のあり方など検討していく。
- 問 船外機の盗難が発生している。漁港に防犯カメラを設置すべきでは。



あやしい電話をシャットアウト!!

※本文は、原文のとおり掲載しています。

子ども家庭センターの体制は

町長 専門職員を確保できた

若者重視

これからの南三
陸町を担う世代
にどんどん投資
しましょう！

QRコードから一般質問
の動画が見られます。



- 問 先般策定された新しい「こども計画」に沿って子育て支援施策が展開されるが、新設される「こども家庭センター」の体制に不備はないか。
- 答 子どもに関する事業、町民からの相談等にワンストップで対応する。わかりやすい窓口になるよう努める。専門職として社会福祉士3名、精神衛生士1名を確保した。
- 問 子どもを一時的に預けるファミリーサポートセンターをぜひ開設してほしいという声があるが。
- 答 アンケートでは利用したいというニーズは多くないが、子どもを預かる側の人数把握も含め検討を続ける。
- 問 病児保育の実現は。
- 問 雨天時に子どもが遊べる施設がないが。
- 答 課題感を持つているが、新しい施設を作るのは難しい。
- 問 放課後に校庭で遊べないという声があるが。
- 答 (教育長) 禁止はしていないが下校時刻が決まっており、結果として短時間になることもある。
- 問 放課後児童クラブでの校庭使用は。
- 答 (教育長) 校庭も遊具も使用できる。こども基本法成立もあり、子どもの意見を聞くことは重要視されていて、放課後児童クラブの運営についてのこども会議を月1回開催しており、児童も積極的に発言している。

高校生

なぜ全員受け入れられない

町長 寮の定員があり、面接で選定した

- 問 南三陸高校の全国募集が始まって3年目になるが、入学希望者が増えていることは喜ばしい。
- 問 寮の定員という理由で受け入れられないのは残念極まる。受け入れを増やすことはできないか。

- 答 入学希望者は5人、10人、15人と年々増加し、合同説明会への来場者も6人、20人、108人と増えてきた。しかし、旭桜寮の部屋数は24で、その上限を超えることから面接による選定が必要と
- 問 せっかく南三陸高校で学びたいという生徒を、寮の定員という理由で受け入れられないのは残念極まる。受け入れを増やすことはできないか。
- 答 下宿の受け入れや宿泊施設の借り上げなど広く声をかけたが応募はなかった。残念という思いは我々にもあるが、現実として難しかった。



病児保育の実現は。



子育て世代の声よ届け

※本文は、原文のとおり掲載しています。

高齢化社会の火災予防は

町長 防災会議で検討協議を行う



家助防災

防災の基本は家族の対応です。自分の役割を再確認しましょう。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



- 問 当町の高齢化率は。 答 65才以上が約40%を占めている。
- 問 火災発生要因の約8割が高齢者が占めているが火災予防の対策は。 答 平成21年から新築家屋には火災警報器が義務化され町全体としては約7割の設置が見込まれ今後も拡大を図りたい。
- 問 高齢者の避難弱者の対応策は。 答 家族や隣近所の協力と普段のコミュニケーションが重要と考える。
- 問 山林火災の対策としての火防線の現況は。 答 気仙沼市・登米市との峰境において伐採管理を行なっている。
- 問 自主防災組織の実施状況は。



帯状疱疹は3人に1人が発症する長寿社会の難敵です。

- 問 69行政区中20行政区が組織化されていない。 問 現行の人口推移では10年後には限界集落が約半数を占めることになるが自主防災の考えは。 答 他集落との合同の取り組みが必要と考える。
- 問 高齢世帯における防災マップの有効な活用策の考えは。 答 各種防災対応の検討に役立てて欲しい。
- 問 高齢化の火災予防には家族を主とする包括的な支援の家助防災が必要と思うが。 答 自助、家助、公助、

- 共助のより有効な取り組みについては今後の防災会議で検討協議を行う。
- 問 厚生労働省が示す带状疱疹予防ワクチン接種の対応は。 答 65歳以上を対象に定期接種として実施する。
- 問 各年代ごとの取り組みは。 答 5年間の経過措置として70歳から95歳までで5年ごとの節目の方及び100歳以上の方全員を

带状疱疹

带状疱疹への対応は

町長 65歳以上を対象に全員接種を行う

- 対象に行う。
- 問 生ワクチンと不活化ワクチンの2種類あると思うが扱いは。 答 2種類のワクチンがありどちらを選ぶかは本人の選択となる。
- 問 抗菌の持続期間に差はあるか。 答 差はあるがどちらも助成対象は1回のみである。
- 問 助成割合は。 答 どちらも半額助成を考えている。

他に「町道整備にかかる「見える化」の進捗状況について」も質問を行いました。詳細は上記QRコードからご覧ください。

安全で快適な生活が送れる環境整備を

町長 関連法や総合計画の中で対応を行う

維持管理

この管理ではなあ。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



- 問 復興で建設された公共施設や日常生活で不可欠なインフラ設備の点検と、今後の管理体制は。 答 公共施設の点検は関係法令に基づき施設や設備の安全に努めている。管理体制は総合管理計画に基づき実施していく。
- 問 全体で738戸の災害公営住宅、現在の入居は。 答 人口の自然減等々で若干減の90%で維持している状況。
- 問 震災前からの建築物、今後の維持管理対策は。 答 維持管理の担当課並びに指定管理者で行っている。今後については、適切な維持管理を図りながら、必要に応じ施設の統廃合や民間への移管等

- も検討している。
- 問 廃校の施設で、郷土芸能の練習場に使っているが、雨漏り状況である。対策の考えは。 答 貸主としては安全管理上、必要な範囲で対応していく。
- 問 上水道の耐用年数は40年と言われている。今後の計画の考えは。 答 法定耐用年数を超えた水道管は18%位あり、順次取り替えを進めている。昨年からは戸倉、来年は入谷地区、翌年は志津川地区を計画している。
- 問 配水池施設の環境と衛生等の管理体制は。 答 配水池の管理は委託業務で、年に1、2回の除草と、月1回は水漏れ確認等を行っている。
- 問 地区の生活道路が激しく凹凸状態だ。対策は。 答 痛みの激しいところは順次修繕を考えている。
- 問 交通量の多い国道45号線と平磯連絡線、南三陸インターのアクセス



配水池施設の環境管理対策は

- 交差点、中央部の段差改良の考えはあるのか。
- 答 気仙沼国道維持出張所と協議、改良出来る範囲の対応の回答である。
- 問 道路側や河川敷内の支障木が大木化、倒木等で災害の恐れがある。早期処理の考えは。 答 適宜の対応を実施し、地域から危険との通報も
- 対応状況。維持管理対応は町民の安全安心に生活できる地域をつくるのが行政の使命、今後もしっかり取り組んでいきたい。

屋根付き多目的広場の建設を

町長 事業精査や財源の確保が課題



問 旧志津川市街地の嵩上げた用地の活用が進んでいないが、現状認識は。

答 企業誘致活動を進めて来たが、町有地と民有地が混在しており、まとまった土地が無い。企業が関心を持った土地は、下水道が無いなどで誘致に至らない。町内企業で労働力不足の現状では大きな企業の誘致は人の奪い合いになる。

〇〇

街開きから8年経ったのに未だに幻のしおさい通りだなあーアイデアはあるのに。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 町で土地集約の考えは。

答 個人の土地を見た目で未活用と決めつけられない。考えは様々あると認識している。

問 今後の誘致活動は。

答 企業立地セミナーへの参加・企業訪問や効果

現在のしおさい通り



的な情報発信をして行く。商店など店舗誘致も継続する。

問 しおさい通りと海辺の広場活用策は。

答 令和5年7月にオープンした海辺の広場の広場には、2体のモアイ像を設置しており、さんさん商店街から海辺の広場の観光客も多い。ここはツールド東北でも活用されている。

問 モアイ像の説明文などは震災前の松原公園にあり、震災で傷んだ物を活用しており、それなりの価値はある。貴重なモアイ像の価値を含め、も

つと町民や観光客など多くの人に知らせる説明文・案内板を設置する考えは。

問 しおさい通りと海辺の広場の活用策や様々な観点から屋根付き多目的

答 自分達はモアイ像の価値や経緯は知っており特に問題視しなかった。しかし初めて来た人が理解できるか、との思いはあったので庁内で検討する。

デマンド交通の成果は

町長 社会福祉協議会との連携で利便性の高いサービスが可能に

問 デマンド型交通導入の成果と課題は。

答 デマンドは令和5年に入谷地区へ、令和7年2月に荒砥線にと段階的に導入している。568人が登録。1日平均20人が利用している。歌津地区で地区内の利用増加が顕著であり、社会福祉協

地域交通

未来の町を担う世代が参加できる協働のまちづくりを

町長 協働の考えに基づくまちづくりを推進していく



未来へ協働

〇〇 地域への思いをポジティブに発信。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 町が合併した後、2007年に基本指針が作られた。今も考え方は変わらないか。

答 いちばん根っこにあるものは変わらない。どう人をつくっていくか。

問 みなゼミ(人材育成塾)を行った成果は。

答 多様な講師からたくさんの方の気づき、考え方を学び受講生の成長を感じられた。

問 学校での総合的な学習の時間における新たなプログラム創出の考えは。

答 年間70時間の原則を守りつつも、プラスアルファの部分各学校で工夫している。

問 学校同士の交流や地域へのフイードバックは

出来ないか。

答 出来る工夫(オンデマンドなど)を考えていく。

問 大人が子どもたちにネガティブワードを出さない、地域に誇りを持つような環境づくりをしていくべきでは。

答 学校側からも地域と分かち合いながら進めていく。

問 情報発信の発展的な整備は。

答 ホームページの更新に伴い、利用者目線でのサイト構築に努める。



あらゆる違いをリスベクトし、相互理解から協働へ

大切な自然環境を守るために

環境意識

町長 本町が誇る自然環境の保全、活用を進め「いのちめぐるまち」を具現化

問 不法投棄対策の現状は。

答 投棄の手口が巧妙で悩ましい。出来る対策を進めていく。日々の活動で環境意識は上がってきていると感じている。

問 パトリールも大変な労力。効率的に行う工夫はあるか。

答 主に保健所の産廃Gメンが担っているが、町の方でも担当課だけに限らず職員で目配り、気配りを働かせている。

問 小さなゴミであつても周り回って生業を破壊したり、経済効果の低下を招くという認識を教育の面からでも啓発していくべきでは。

答 農林水産業も環境というものに密接に関係している。横のつながりを大切にしながら住民に戸惑いの無いような対応を行っていく。

問 環境美化の観点からもしっかり取り組むことが肝要。

問 海洋プラスチックゴミを削減していくためには。

答 地上から出たゴミが海に至る状況でもある。ゴミを減らす、回収するというところしつかりやっていく。

問 環境対策を農林水産課が担う。役割と責任が大きくなるが。

答 農林水産業も環境というものに密接に関係している。横のつながりを大切にしながら住民に戸惑いの無いような対応を行っていく。

職員の方たちの石碑が建立され、次は一般町民の分ではないか、風化防止のためにも

町長 町として、名前を刻んだ石碑の建立は考えていない



我田引水

ひと足 お先に。

QRコードから一般質問の動画が見られます。



- 問 町長は新聞のコメントで、多くの町民が犠牲になり、職員の名前だけ刻まれた慰霊碑の設置は町としてできない、としている。しかし、実行委員会のメンバーは、当時の副町長や歴代課長経験者たちで、実質は町で建てたことにならないか。
- 答 町は主体となっていない、実行委員会の皆さんが建立する。
- 問 実行委員会は、職員の分だけ庁舎に建立して終えるプロジェクトなのか、今後進展して700有余名の分も刻んでゆく動きを聞いているか。
- 答 聞く相手を間違っている、私に聞く話ではない。議員も知る6人の実行委員会に聞くのが筋だ。



役所の方たちだけイイなあ。

の二丁目一番地として、名前を刻んだ石碑の建立がタイセツではないか。

答 祈りの丘のモニュメントに犠牲者名簿を安置している、今後、名前を刻んだ石碑の建立は考えていない。

宣伝広告過多

集客・交流人口拡大の広告・宣伝よりも、地域資源に投資を

町長 プロモーションは戦略で、地域の観光資源は人だと思っている

- 問 入り込み客数120万人に対し、地元への経済効果は。
- 答 直接効果額は、県内客約45億、県外客で32億合わせて77億だ。
- 問 その内、町内での部分は。
- 答 調べることは実質不可能だ。
- 問 観光振興費の約5000万円は、ほとんど広告宣伝だが、それより観光資源の充実へ使うことも必要では、
- 答 戦略なくして効果は出ない。地域の観光資源の磨き上げは別問題だ。
- 問 町内4地区の観光資源の充実も必要では。
- 答 わが町の地域資源は人間だと思っている。魅力的な人たちのおもてなしでのリピーターが大切だ。
- 問 滞在型・着地型観光の施設として、景色のイイところにパークゴルフ場の整備は。
- 答 滞在型としては、インドア・アウトドアスポーツの施設が整っている、合宿や大会誘致で観光振興に寄与していく。

上の山から志小までのルート確保しては！

町長 地区民が上の山で被災したから駄目

油断大敵

安心、安全な町が担保されているかなー！

QRコードから一般質問の動画が見られます。



- 問 震災の検証を防災計画に生かされているのか。
- 答 災害対策本部運営規程の見直しにより、各部からのニーズ把握を主要事務とした受援班を編成している。
- 問 前回のように10m以上の津波がきたら、国道は人から車から混雑する。川が氾濫したら動きが取れなくなる。ルートは余計あればいいのでは。
- 答 国道398号沿いはさんさん商店会からも逃げる時も志小が見えるので、土地勘が無い人も速やかに避難できる。避難道が確保して無い上の山よりいい。
- 問 前回のような津波を考えると安心安全な街づくりに疑問が残る、想定

外になる。

答 我々は何メートルの津波がくるかの前提は捨てた方がいい、警報が出たらすぐ避難すべきと思う。

問 記録誌を読むと多くの人が上の山から志小避難所に向かつて助かった。道路が無い中を避難したルートを作るべきではないか。

答 十日町・五日町・本浜地区の助かった人達から、上の山は二度と避難所にしては駄目だと言われた。その場所に避難所を作る事は命の危険があるのを理解しているのか。

問 祈念公園の草刈りはいろんなボランティアさん方が協力しているが、シルバー人材センターができたので仕事を廻せば収益につながるのでは。

答 建設課の職員が年6回草刈りと草刈りロボットが昼夜とわず活躍している。

問 震災後この市町村

も石に名前を刻んでいる。3月9日には職員の慰霊碑の除幕式があり、ご遺族の皆様方は複雑な想いだと推察するが。

答 今野議員に答弁したとおり石には刻まない。



落沢線の改修工事を早くすべき

町長 新年度からしても5年かかる

- 問 落沢線令和7年度調査予定だがどんな調査か。使っても1〜2年で出来ないのか。
- 答 確認調査が済んだので大規模改修ではなく待避所や局部改良、舗装改修する。
- 問 単年度事業で終わるのか。
- 答 900mだが5〜6年かかる。
- 問 補助事業や基金（財
- 他に「引きこもりと不登校の現状と課題について」も質問を行いました。
- 詳細は上記QRコードからご覧ください。

全行政区長と意見交換

1月23日
24日
2日間開催

地域の現状と課題とは

毎年行っている「住民と議会との懇談会」。今回は町内全ての行政区長さんたちと、4地区に分かれて意見交換を行いました。出されたご意見の一部を、分野ごとに紹介します。

民生・教育分野の課題

- ◆災害公営住宅の高齢化率が高く、今後のLSAがどうなるのか不安だ。
- ↓ 新年度予算を確保し、規模はかなり縮小されますが継続することとなりました。(P7)
- ◆健康づくりに効果的な、パークゴルフ場の整備を。
- ↓ 今野議員が一般質問で取り上げました。(P18)
- ◆町内の社会教育団体にお金だけでなく総体的なサポートが必要だと思う。
- ↓ 当初予算審査の中で、伊藤委員が質疑しました。(P7)
- ◆行政区の団結力が薄く、悩んでいる。

産業・建設分野の課題

- ◆市場の買受人の体制改善や未利用魚の活用など、不振が続く漁業への支援が必要だ。
- ◆ふるさと納税の積極的な推進を。
- ◆隣家や道路に対する支障木対策も含め、空き家の利活用をどう進めるか。
- ◆移転元地の草刈りなどの管理ができていないのでは。
- ◆遊休農地をどうやって活用していくのか。
- ◆道路の補修や改良の優先順位はどうなっているのか。
- ↓ 阿部議員が一般質問で取り上げました。(P14)

地域ならではの要望も

全町的な課題も多く挙げてもらいましたが、町民のみなさんの最も身近にいる行政区長さんですので、地域、行政区ごとの課題や問題点、そしてそれに対する改善要望も多かったと思います。

- 一部を抜粋すると…
- ◆国道45号と398号の交差点にはぜひ信号を。無理であれば、見通し確保のための定期的な環境整備を。【戸倉】
 - ◆港駅付近の道路が狭く通行が困難。改修工事をしてほしい。【歌津】
 - ◆お祭りや山車が通る際に支障がある枝木の伐採を。【入谷】
 - ◆高台団地2本目の接続道が必要。【志津川】
 - ◆戸倉小へ水戸辺間に街路灯がなく、児童の下校に不安。【戸倉】
 - ◆募金を集めたりといった区長の事務は、総合支所に対応してほしい。【歌津】
 - ◆ひころの里も災害時の避難場所に指定してほしいか。【入谷】

議会に対してはこんな声も

- ◆人口減少などの町に迫る課題に対してもっと危機感を持って、議会ですべてを攻めてほしい。
- ◆遠隔地へ視察研修に行っているが、経費をかけて実施するからには結果を示してほしい。
- ◆もっと議会の活動を広報してほしい。
- ◆議員定数削減などは検討しているのか。

たくさんの方に
出席いただき
たくさんのご意見を
いただきました！



2日間にわたって4会場で開催した今回の懇談会。もっと頻繁に開催してほしい、という意見もありました。いただいたご意見は、それぞれの委員会や議員活動の中で、調査したり、質疑をすることで、実現を目指していきます。

ありがとうございました！！

総務産業建設 常任委員会

令和7年2月13日、
町有林の管理状況および
YES工房において聞き
取り調査を行った。

地域の実情と森林資源管理

調査の概要

町有林においては、樹齢70
年材を形状や位置関係などを選
定し間伐、また、1反歩あたり
200本を目安に植林が行われ
適正な管理状況であった。
YES工房は、加工流通のCO
C認証を取得しており、FSC
材を活用したデザイン、製造を
はじめ、ものづくり体験なども

行っている。教育旅行を受入れ、
180名を受け入れ可能な研修
室の利用実績は年間3,000
名を超えている。地域の木材を
活用する事でさらに付加価値を
高め、町の森林資源管理を活か
していく活動を続けている。
木材の流通等、林業振興の先
進事例を調査する必要があるこ
とから継続調査とする。

民生教育防災 常任委員会

令和7年1月16日、
土砂災害について現地調
査を行った。

県と連携して土砂災害の防止を

調査の概要

県職員3名、町職員2名の同
行のもと、県の事業として進め
られている、入谷地区童子下の
砂防堰堤工事の進捗状況、林際

の工事予定地の現地調査を行い
現状を確認した。
今回は町内での防災・減災の
ための具体的な事業について現
地調査を行ったが、他の自治体
での取組状況等も調べる必要が
あるため、継続調査とする。

請願・陳情の受理状況

議会では、町民の方や町外の方からの陳情などを随時受け付けています。

陳情書

○葦の浜漁港への防犯カメラ設置等の陳情書

この陳情については、総務産業建設常任委員会に付託されました。

○来年度（令和7年度）の年金改定では物価の高騰に見合った年金額引
き上げを求める陳情書

○再審法改正を求める意見書の採択について（陳情）

以上の陳情については、議員に配布しました。

1月臨時会議 議案一覧 10件（条例3件、工事1件、予算6件）

条例	議案第46号	職員の給与を改定 人事院勧告に準拠し、若手職員ほど増額。
条例	議案第47号	特別職（町長、副町長、教育長）の給与を改定 月6,000円ほど増額。→P10
条例	議案第48号	議員の報酬を改定 月3,000円ほど増額。→P10
工事	議案第49号	志津川中学校トイレ改修工事を志津川建設（株）と110万円増額し、1億5,500万円で変更契約締結。工期は令和7年2月20日まで。
予算	議案第50号	令和6年度一般会計補正予算（第5号）→P10
予算	議案第51号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
予算	議案第52号	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第3号）
予算	議案第53号	令和6年度水道事業会計補正予算（第2号）
予算	議案第54号	令和6年度病院事業会計補正予算（第1号）
予算	議案第55号	令和6年度訪問看護ステーション事業会計補正予算（第2号）

3月定例会議 議案一覧 37件（条例12件、人事4件、財産6件、予算15件）

条例	報告第10号	刑法等の改正に伴う関係条例の整理を専決処分 5条例の文言を整理。
条例	報告第11号	監査委員条例等の改正を専決処分 5条例の条ずれを修正。
条例	報告第12号	職員育児休業等の条例改正を専決処分 条ずれの修正。
条例	報告第13号	地方公務員法の改正に伴う関係条例の整理を専決処分 条ずれを修正。
人事	諮問第2号	人権擁護委員の候補者に及川庄弥氏を推薦
人事	諮問第3号	人権擁護委員の候補者に阿部美津雄氏を推薦
人事	諮問第4号	人権擁護委員の候補者に及川道子氏を推薦
条例	議案第56号	職員の勤務時間等に関する条例改正 仕事と育児・介護の両立支援。→P9
条例	議案第57号	育英資金貸付基金条例を改正 貸付対象者の要件を整理。
条例	議案第58号	国民健康保険税条例を改正 保険税率を引き上げる。→P8
条例	議案第59号	水道工事に関する条例改正 工事に必要な資格要件を緩和。
条例	議案第60号	保育に関する条例改正 地域密着型、家庭的保育の2条例の文言を整理。
条例	議案第61号	スポーツ交流村条例を改正 設備利用料を当分の間無料に。→P8
条例	議案第62号	特定教育・保育及び家庭的保育事業に関する条例改正
条例	議案第63号	高額療養費等貸付基金条例を廃止
財産	議案第64号	旧国道三嶋線の一部を町道認定 ハマーレ広場付近。
財産	議案第65号	旧国道伊里前線の一部を町道認定 ハマーレ広場付近。
財産	議案第66号	町道追分線を廃止 ハマーレ歌津東側。現状に合わせ町道港橋線に統合。
財産	議案第67号	町道港橋線の起点を変更 議案第66号に伴う変更。
財産	議案第68号	町道石泉線の起点を変更 ハマーレ歌津西側。現状に合わせる。
財産	議案第69号	権利の放棄について
予算	議案第70号	令和6年度一般会計補正予算（第6号）→P9
予算	議案第71号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
予算	議案第72号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
予算	議案第73号	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第4号）
予算	議案第74号	令和6年度市場事業特別会計補正予算（第2号）
予算	議案第75号	令和6年度病院事業会計補正予算（第2号）
予算	議案第76号	令和7年度一般会計予算
予算	議案第77号	令和7年度国民健康保険特別会計予算
予算	議案第78号	令和7年度後期高齢者医療特別会計予算
予算	議案第79号	令和7年度介護保険特別会計予算
予算	議案第80号	令和7年度市場事業特別会計予算
予算	議案第81号	令和7年度水道事業会計予算
予算	議案第82号	令和7年度下水道事業会計予算
予算	議案第83号	令和7年度病院事業会計予算
予算	議案第84号	令和7年度訪問看護ステーション事業会計予算
人事	同意第11号	教育委員会教育長小松祐治氏任命に同意→P8

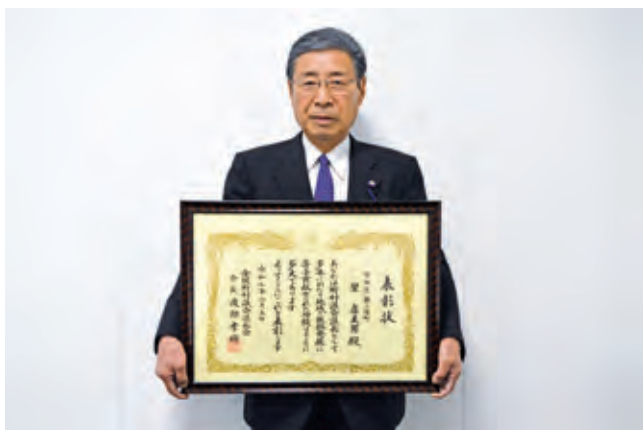
大船渡市へお見舞い

令和7年2月26日に発生し大きな被害を出した岩手県大船渡市の山林火災に対し、3月18日、南三陸町議会を代表して、星議長、菅原副議長が大船渡市を訪問し、お見舞金をお届けしました。



自治功労者表彰

星喜美男議長が多年にわたり、議長として地域の振興発展に寄与した功績を認められ、全国町村議会議長会より自治功労者表彰を受けられました。



映像配信中！

パソコンやスマートフォンから、議会開会中はリアルタイムで、後日見たい場合は録画映像をご覧になれます。



皆さん議会を傍聴してみませんか？

次回の会議（予定）
6月3日（火）～
午前10時から

編集後記

桜花爛漫の季節も終わり、農家の皆さんには野畑の作業が一段と忙しくなってくる時期をむかえている事と思います。

この度、議会の活性化を目指し1月において他の自治体と同様タブレットを導入し、これまで3回の講習会を重ねて参りました。初めての体験なもので操作を理解するまでにはちよつと時間がかかりそうですが、議員皆が一生懸命頑張つて挑戦しております。

さて、3月の定例会議も終わり令和7年度の大事な当初予算の審査も終わりました。これらを基本として一年間の事業が組まれるものです。

これからのまちづくりと町民皆様の福祉の向上を目指し、慎重なる審査を重ねて本会議においてすべてが可決されました。

これからはそれらに対して議員の責任を果たすために監視してまいります。「住みよい南三陸町にするために」

佐藤 雄一

議会広報常任委員会

委員長 後藤伸太郎
副委員長 須藤 清孝
委員 佐藤 雄一
高橋 尚勝
阿部 俊司
伊藤 俊